

～現場体験などの卒業生講話がありました～

6月24日(土)に発達教育学部では、2年生を対象とした、「現職の先生による講話を聞く会」を開催し、小学校教諭・特別支援学校教諭・幼稚園教諭・保育教諭として活躍している4名の卒業生講話を聞きました。



卒業生から後輩学生へのメッセージ

私は、八千代市にある私立幼稚園に勤務しています。緑に囲まれて、行事もたくさんあるとても楽しい幼稚園です。子どもの将来を第一に考えて、グローバル化が進む社会に向けて、英語教育やアクティブラーニングなどの学習を導入しています。

私立幼稚園の魅力は、特色ある個性豊かな幼児教育を推進できることです。私の勤務する幼稚園では、2泊3日のキャンプがあったり、運動会では組み立て体操や鼓笛を披露したりして、子どもたちが生き生きとしています。なにより、基本的な生活習慣の形成に力を入れているため、子どもたちは気持ち良く活動することができます。こういった点も、私が私立幼稚園に就職することを決めた大きな理由です。今後も、子どものことを第一に考えた保育ができるよう頑張っていきたいです！

幼児教育分野をめざすみなさん、子どもの成長を願う気持ちが強ければ、何事も頑張れると思いますよ！



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4期生 河原 優貴  
千葉県立八千代東高等学校出身

～介護を学び半年が過ぎました～

私は、自宅で99歳の曾祖母の介護をしている母の姿を見て、力になりたいと思い介護福祉士をめざしました。日々の授業は驚きや学びがたくさんあり充実しています。特に生活支援技術の授業では、腰に負担ががからない移動介助などが学べ、家でも実践しています。



短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 1年 富樫 菜生  
千葉県私立千葉黎明高等学校出身

～ゼミ活動で流しそうめん～



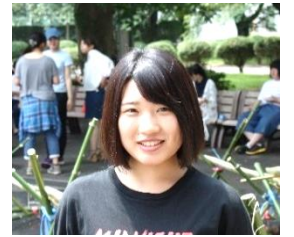
7月18日に、山本ゼミ・漆澤ゼミ・堀ゼミの3ゼミ合同で流しそうめんを行いました。先生方のご指導のもと、前日から竹を取りに行くなどの準備を行いました。当日は、流し台を作る係と、そうめんを茹でる係に分かれ、全員で準備をした後、美味しくいただきました。

私は、流しそうめんをするのは初めてでしたが、みんなで協力しあい

準備をして、それを一緒に食べることで、連帯感や充実感を味わうことができました。就職し行事を計画する際には、今回の経験を生かし、子どもたちがさまざまなものに触れる機会をつくり、みんなで協力して何かを成すことの楽しさを知ってもらいたいと感じました。

2年生の半分が過ぎようとしている今、私たちは就職等に向けて準備を始めようとしています。この短大で学んだことを生かして、素敵な保育士になりたいです。

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 菅崎 ちなみ  
千葉県立銚子高等学校出身



～卒業生からのメッセージ～



私は長生郡にある障害児福祉型施設で指導員をしています。保護者がさまざまな理由で養育困難となり、その障害のある子どもたちを措置として預かっています。軽度の子から重度の子までいますが、みんな明るく過ごしています。

仕事をして2年目になりますが、担当している子どもたちは障害、性格含めてさまざまです。故に個々の支援が大切になりますが、その難しさを2年目になった今も感じています。しかし、子どもたちと関わるなかで重度の子どもからも「笑顔」が見られると、この仕事をやっていて良かったと感じます。その「笑顔」が毎日見られるように、大学で学んだこと、職場で学んだことを生かして、今後も励んでいきたいと思っています。

障害者(児)福祉で働きたいと思う後輩のみなさん、ぜひ一度、現場に足を運んでみてください。きっとめざしている道への第一歩となるはずですよ。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 5期生 岩本 千尋  
千葉県立千葉南高等学校出身

